

# 技術情報

J A全農やまぐち  
TAC・営農推進課(083-988-0681)  
平成 28 年 8 月 15 日 発行  
第 224 号

## セジロウンカの発生と防除対策について

セジロウンカの防除対策については7月19日付で病害虫防除所が技術資料を発表しましたが、依然発生が多いことから、再度8月12日付で技術資料が発表されました。

つきましては、被害が発生することのないよう、「発生予察技術資料第8号」(写)を参考にご指導をお願いします。

なお、防除薬剤は表(平成28年山口県農作物病害虫・雑草防除指導基準)を参照し、飼料用イネについては使用の可否を確認してください。

平成 28 年(2016 年) 8 月 12 日  
山口県病虫害防除所

## イネのセジロウンカの発生と防除対策

このことについては、7 月 19 日付け技術資料第 3 号で情報提供しているところですが、8 月上旬の巡回調査の結果、引き続き発生が平年に比べ多い状況でした。

つきましては、以下のとおり防除対策をお願いします。

### 1 発生状況

- (1) 8 月上旬の巡回調査では、発生ほ場率 79.1% (平年 76.4%)、10 株当たり虫数 139.0 頭(平年 19.8 頭)で平年に比べ多かった。防除の目安を超えるほ場は、7.0%であった(図)。
- (2) 本年の主な飛来は 6 月 20 日(並飛来)、7 月 16 日(少飛来)頃であり、8 月中旬頃まで老齢幼虫～成虫の発生ピークとなる。

### 2 今後の予想

- (1) 対象地域 県内全域(主に中生種、飼料用米)
- (2) 発生量 多
- (3) 予想内容 8 月中旬以降に出穂期を迎える中生種や飼料用米を中心に、一部の多発ほ場では、褐変穂、黄化、部分的な坪枯れの被害が懸念される。

### 3 防除対策

- (1) 穂ばらみ期の防除を徹底する。
- (2) ほ場を確認し、防除の目安(出穂期までに、株当たり 50 頭以上)を超えるほ場では、即時、防除を実施する。

### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 飼料用米(特に「北陸 193 号」等のインディカ型品種)では多発し被害が発生することがある。
- (2) 出穂後のイネについては、防除の必要性は低い。

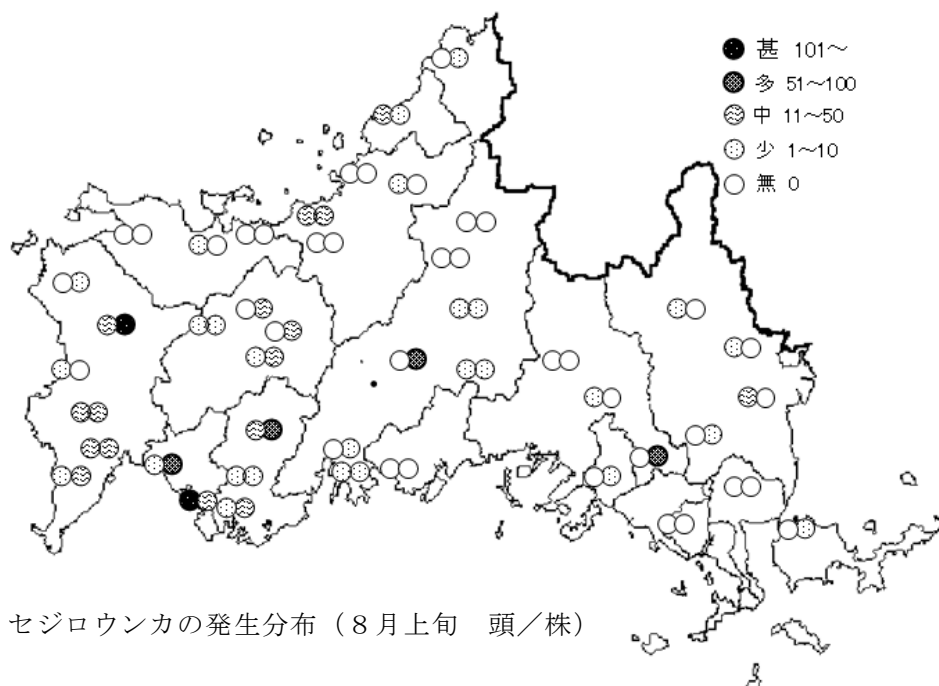


図 セジロウンカの発生分布(8月上旬 頭/株)

# ウンカ類の防除剤

(平成28年農作物病害虫・雑草防除指導基準による)

## 殺虫剤

系統	コ殺虫剤	コ殺菌剤	商品名	希釈倍数 使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数	出飼 肥料 用米 (糶)に 使用可	備考
----	------	------	-----	---------------------	-----------------	------	------	--------------	-------------------------------	----

### 【粉剤】

フェルピラゾール	2B		キラップ粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)	○	
ピレスロイド	3A		MR. ジョーカー粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	シラフルオフェン2回以内	○	
ピレスロイド	3A		トレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内	○	速効性だが、浸透移行性はなく、薬剤が虫体にかからないと効果が劣
ネオニコチノイド	4A		スタークル粉剤DL アルバリン粉剤DL(普)	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	
ネオニコチノイド	4A		ダントツH粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	○
ネオニコチノイド	4A		ダントツ粉剤DL(普)	3~4kg/10a				○	○	
ピレスロイド、ネオニコチノイド	3A 4A		トレボンスター粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	
フェルピラゾール、ピレスロイド	2B 3A		キラップジョーカー粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、シラフルオフェン2回以内	○	
ピレスロイド、ネイストキシン	3A 14		パダントレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、カルタップ6回以内(但し、種もみ浸漬は1回以内、床土への混和及び育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)		-
昆虫成長制御、カーバメート	16 1A		アブロードバッサ粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ブプロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)、BPMC5回以内	○	○

### 【液剤】

フェルピラゾール	2B		キラップフロアブル(普)	1000~2000倍、60~200リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)	○	
ピレスロイド	3A		MR. ジョーカーEW(普)	2000倍、60~150リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	シラフルオフェン2回以内	○	
			トレボン乳剤(普)	1000~2000倍、60~150リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内	○	
			アークリン水和剤(普)	2000倍、60~150リットル/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内	○	
ネオニコチノイド	4A		アドマイヤー水和剤(劇)	2000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	イミダクロプリド3回以内(但し、種もみへの処理又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	○	
			スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤(普)	3000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	
			スタークル液剤10 スタークルメイト液剤10(普)	1000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	
			ダントツフロアブル(普)	5000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	○
			ダントツ水溶剤(普)	4000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	○	○
昆虫成長制御	16		アブロードフロアブル(普)	1000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ブプロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)	○	○
			アブロード水和剤(普)	1000~2000倍、60~150リットル/10a					○	○
ピレスロイド、ネオニコチノイド	3A 4A		トレボンスターフロアブル(普)	1000倍、60~150リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)		-
ネオニコチノイド、昆虫成長制御	4A 16		アブロードスタークルゾル(普)	1000倍、60~150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、ブプロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)		-
フェルピラゾール、ピレスロイド	2B 3A		キラップジョーカーフロアブル(普)	1000倍、60~200リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、シラフルオフェン2回以内	○	

ウンカ類はウンカ類幼虫で適用。遅効的だが、残効性に優れる。成虫に直接効果はないが、卵をふ化させない作用がある。

系統	コ殺虫剤	コ殺菌剤	商品名	希釈倍数 使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数	飼料用米に使用可	飼料用米(粗)に使用可	備考
----	------	------	-----	---------------------	-----------------	------	------	--------------	----------	-------------	----

【粒剤】

フェニルピラゾール	2B		キラップ粒剤(普)	3kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	湛水散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)		○	大型種カメムシ類には効果が劣る。
ピレスロイド	3A		トレボン粒剤(普)	2~3kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内		○	ニカメイチュウはニカメイチュウ第1世代で適用
ネオニコチノイド	4A		スタークル粒剤 アルバリン粒剤(普)	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)		○	湛水状態(3~5cm程度)で田面に均一に散布する。ほ場の状況や処理条件によっては、大型種カメムシ類に効果が劣る場合がある。
ネオニコチノイド	4A		スタークル豆つぶ(普)	250~500g/10a						○	
ネオニコチノイド	4A		ダントツ粒剤(普)	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)		○	
ネオニコチノイド	4A		ベストガード粒剤(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	ニテンピラム4回以内		○	
昆虫成長制御	16		アブロード粒剤(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	湛水散布	プロロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)		○	ウンカ類はウンカ類幼虫で適用。遅効的だが、残効性に優れる(約30日)。成虫に直接効果は無いが、卵をふ化させない作用
ネイロキシン、昆虫成長制御	14 16		アブロードパダン粒剤(劇)	3~4kg/10a	収穫30日前まで	4回以内	湛水散布	カルタップ6回以内(但し、種もみ浸漬は1回以内、床土への混和及び育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)、プロロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)			ウンカ類はウンカ類幼虫で適用
ネイロキシン、カーハート	14 1A		パダンバッサ粒剤(劇)	3~4kg/10a	収穫30日前まで	5回以内	手、又は散粒機で田面に均一に散粒	カルタップ6回以内(但し、種もみ浸漬は1回以内、床土への混和及び育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)、BPMC5回以内			—

殺虫殺菌剤

系統	コ殺虫剤	コ殺菌剤	商品名	希釈倍数 使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数	飼料用米に使用可	飼料用米(粗)に使用可	備考
----	------	------	-----	---------------------	-----------------	------	------	--------------	----------	-------------	----

【粉剤】

フェニルピラゾール	2B	不明	トライK粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、テフプロキン2回以内			—
フェニルピラゾール、ピレスロイド、メナジソン生合成阻害	2B 3A	16	ビームキラップジョーカー粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、シラフルオフェン2回以内、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
ピレスロイド、メナジソン生合成阻害	3A	U14 16.1	ブラシントレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、フェリムゾン2回以内、フサライド3回以内			—
ピレスロイド、メナジソン生合成阻害剤	3A	16.1 U14	ノンプラストレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、フェリムゾン2回以内			—
ピレスロイド、メナジソン生合成阻害	3A	U14 16.1	ブラシンジョーカー粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	シラフルオフェン2回以内、フェリムゾン2回以内、フサライド3回以内			—
ピレスロイド	3A	不明	トライトレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、テフプロキン2回以内			—
ピレスロイド、ベンゾイミダゾール	3A	1	トップジントレボン粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	エトフェンブロックス3回以内、チオファネートメチル3回以内(但し、種子への処理は1回以内)			—

ピレスロイド、抗生物質、メラニン生合成阻害、抗生物質	3A	24 16.1 26	ダブルカットバリダトレボン粉剤3DL(普)	3~4kg/10a	穂揃期まで	2回以内	散布	イトフェンブロックス3回以内、カスカマイシン 4回以内(但し、種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、バリダマイシン 6回以内(但し、育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)			—
ピレスロイド、昆虫成長制御、メラニン生合成阻害、—	3A 18	16.1 20	ビームモントレランナー粉剤5DL(普)	3~4kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	イトフェンブロックス3回以内、メキシフェノジド3回以内、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、ペンシクロン4回以内			—
系統	コ殺 ト剤	コ殺 ト剤	商品名	希釈倍数 使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用 回数	使用 方法	成分含む 使用回数	飼料 用箱に 使用可	出穂 料用米 (親用)に 使用可	備考

【粉剤つづき】

ネオニコチノイド、昆虫成長制御、メラニン生合成阻害	4A 16	16	ビームアプロードスタークル粉剤5DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、プロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
ネオニコチノイド、メラニン生合成阻害剤、—	4A	16.1 U14	ノンプラスダントツH粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、フェリムゾン 2回以内			—
ネオニコチノイド、メラニン生合成阻害	4A	16	ビームスタークル粉剤5DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
ネオニコチノイド、—	4A	不明	トライスタークル粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、テフプロキソニド2回以内			—
ネオニコチノイド、—、メラニン生合成阻害	4A	U14 16.1	ブラシダントツH粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、フェリムゾン2回以内、フサライド3回以内			—
ネオニコチノイド、メラニン生合成阻害、アミド	4A	16.1 7	ビームモンカットスタークルF粉剤5DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、フルトラニル3回以内(但し、小包装投入は1回以内)			—
ネオニコチノイド、メラニン生合成阻害、抗生物質、—	4A	16.1 26 U14	ノンプラスバリダダントツH粉剤DL(普)	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	クロチアニジン 4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、バリダマイシン 6回以内(但し、育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)、フェリムゾン 2回以内			—
ネオニコチノイド、昆虫成長制御、抗生物質、メラニン生合成阻害、抗生物質	4A 18	24 16.1 26	イッカツエース粉剤DL(普)	3~4kg/10a	穂揃期まで	2回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、テフフェノジド 2回以内、カスカマイシン4回以内(但し、種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)、バリダマイシン6回以内(但し、育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)			—
昆虫成長制御、昆虫成長制御、メラニン生合成阻害	18 16	16.1 7	コルター2号F粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	テフフェノジド2回以内、プロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)、フサライド3回以内、フルトラニル3回以内(但し、小包装投入は1回以内)			—
ネライトキシン、ネオニコチノイド、抗生物質、—、メラニン生合成阻害	14 4A	26 U14 16.1	ハスラー粉剤DL(普)	3~4kg/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	カルタップ6回以内(種もみ浸漬は1回以内、床土への混和及び育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)、クロチアニジン4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、バリダマイシン6回以内(但し、育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)、フェリムゾン2回以内、フサライド3回以内			—

【液剤】

ネオニコチノイド、メラン生合成阻害	4A	16	ビームエイトスタークルゾル(普)	1000倍、60～150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
ネオニコチノイド、メラン生合成阻害	4A	16	ラプサイドスタークルフロアブル(普)	500倍、60～150リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、フサライド 3回以内			—
ネオニコチノイド、ベンゾイミダゾール	4A	1	トップジンスタークルフロアブル(普)	500倍、60～200リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、チオファネートメチル3回以内(但し、種子への処理は1回以内)			墨黒穂病にも適用あり。
系統	コ殺虫剤	コ殺菌剤	商品名	希釈倍数 使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数	飼料用 稲に使用可	出穂以降も(稲用)に使用可	備考

【液剤つづき】

ピレスロイド、ベンゾイミダゾール	3A	1	トップジンレポンフロアブル(普)	500倍、60～200リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	イトフェンロックス3回以内、チオファネートメチル3回以内(但し、種子への処理は1回以内)			墨黒穂病にも適用あり。
ピレスロイド、抗生物質、メラン生合成阻害	3A	24 16.1	ダブルカットJフロアブル(普)	1000倍、60～200リットル/10a	穂揃期まで	2回以内	散布	シラフルオフェン2回以内、カスガマイシン4回以内(但し、種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)、トリシクラゾール 4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
フェニルピラゾール、ピレスロイド、メラン生合成阻害	2B 3A	16	ビームキラップジョーカーフロアブル(普)	1000倍、60～200リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、シラフルオフェン2回以内、トリシクラゾール4回以内(但し、育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)			—
ピレスロイド、メラン生合成阻害	3A	U14 16.1	ブラシンジョーカーフロアブル(普)	1000倍、60～150リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	シラフルオフェン2回以内、フェリムゾン2回以内、フサライド3回以内			変色米(エピコカム菌)にも適用がある。
昆虫成長制御、アミド	16	7	アブロードモンカットエアー(普)	1000倍、60～150リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	アブプロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)、フルトラニル3回以内(但し、小包装投入は1回以内)		○	ウンカ類はウンカ類幼虫で適用
昆虫成長制御、アミド	18 16	7	アブロードロムダンモンカットエアー(普)	750倍、60～150リットル/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	テブフェノジド2回以内、アブプロフェジン4回以内(但し、小包装投入は1回以内)、フルトラニル3回以内(但し、小包装投入は1回以内)			

【粒剤】

ネオニコチノイド、メラン生合成阻害	4A	16	コラトップダントツ1キロ粒剤(普)	1kg/10a	出穂5日前まで	2回以内	散布	クロチアジメチル4回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、ヒロキロン 3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	○		カメムシ類の適用については、大型種カメムシ類では効果が劣る。
ネオニコチノイド、メラン生合成阻害	4A	16	コラトップスタークル1キロ粒剤(普)	1kg/10a	出穂5日前まで	2回以内	散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、ヒロキロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	○		カメムシ類の適用については、大型種カメムシ類では効果が劣る。
フェニルピラゾール、昆虫成長制御	2B	6	フジワンラップ粒剤(普)	3～4kg/10a	収穫30日前まで	2回以内	湛水散布	エチプロール2回以内(但し、移植時までの処理は1回以内)、イソプロチオラン3回以内(但し、移植前は1回以内、本田では2回以内)	○		カメムシ類の適用については、大型種カメムシ類では効果が劣る。
ネライトキシン、カバメート、	14 1A	P	バダンバツサオリゼメート粒剤(劇)	3～4kg/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	カルタップ6回以内(但し、種もみ浸漬は1回以内、床土への混和、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)、BPMC5回以内、プロベナゾール2回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)			白菜枯病にも適用がある。 イネミズゾウムシにも適用がある(使用量4kg/10a)。
ネオニコチノイド、ステロール生合成阻害剤、メラン生合成阻害	4A	3 16.3	ゴウケツモンスター粒剤(普)	3kg/10a	出穂5～30日前(但し、収穫45日前まで)	1回	湛水散布	ジノテフラン4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)、シメコナゾール2回以内、トルブロカルブ2回以内(但し、移植前は1回以内、本田では1回以内)			—